



新春特別号



十勝勤医協

友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp

E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp



「安心して十勝で生きて、十勝で老いて、十勝で死んでいくことに寄り添います」

理事長 深町 知博

友の会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

さて、5月8日からコロナ感染症が5類に移行してから半年以上が経ちました。12月上旬、久々に東京へ出張に行きました

が、電車の座り客を見渡すとマスク着用率はほぼ5割でした。

そして、六本木界隈ではおそらくイルミネーションの見物なのか、夕方、大勢の人であふれかえっていました。12月8日の厚

労省の報告では全国的にまたコロナ感染症が増えているとの事で、今のインフルエンザ感染症の増加に加え、予測されていた事とはいえ、医療介護現場では

気の抜けない日々が続いています。皆様もくれぐれも今まで同様の感染対策を続けて下さい。

こここのところ私にとって、イスラエル軍の戦争犯罪的ガザ地区侵攻は言うまでもありません

が、驚きと怒りの出来事が立て続けに起こっています。(皆様にも多分ご同意いただけると思います)

1つ目は、11月29日に起こった屋久島沖でのオスプレイ墜落、死亡事故に関連した

文書の関連で日本政府は強く出れないとの報道もありました。

日本とアメリカが外交上、対等平等な関係にはない事をまたしても強く認識した出来事でした。

2つ目は、11月30日から始まった主に世界の温暖化対策を国際的に話し合うCOP28

(Conference of Parties) 締約国会議/28回目) がアラブ首長国連邦(UAE)のドバイ

で始まりましたが、その内容です。12月3日の朝日新聞の1面を見て目を疑いました。左上に

『「原発容量3倍」日本も賛同』の見出し。温室効果ガスの排出を減らす対策の一環として「世界全体の原発の設備容量を20

50年までに3倍に増やす」というアメリカの呼びかけに、198の国、機関のうち、日本を

含む22カ国が賛同したというのです。ご存知かと思いますが、すでに岸田政権は福島原発事故

があったにも関わらず、「原発回帰」に舵を切っており、その政策を後押しするような事が国際会議で提起された事に私はとてもショックを受けました。

3つ目は、自民党の清和政策研究会(安倍派)などによる政治資金パーティをめぐる裏金作りの疑惑です。

以前にも同様の事があり、政治資金規制法とやらが作られた様に思っていました。今さらというかまだそんな事をして

いたのかというのが最初の感想でした。おそらく、自民党の他の派

閥も多かれ少なかれ同様な事を当然しているだろう事は容易に

推察でき、日々そのことも報道されています。自民党の中からは「自民党の終わりになりかねない」「まずい、底が抜ける」「自

民が壊れるかどうかの問題だ」(12月2日朝日新聞から)という声が上がっています。当然だ

と思います。そうした動きの中で、岸田総理は、この問題を安倍派だけの問題にして切り抜け

ようとしていると報道された直後、本日(12月10日)安倍派の幹部5人を事実上その要職を更

送するとの報道。自分の旧統一教会との関係や辞任ドミノ(副大臣、政務官が4人連続して辞

任)の責任などを棚上げした状況での対処をみると、支持率20

%台を背景に相当追い込まれているなど感じられました。しかし、多くの国民が納得するよう

な代わりの人間がない、代わられる政党がないのが今の日本の

実情だと思えます。いかにまともな政治的受け皿を作るかが本

当に喫緊の課題になっていると考えますが、現実には逆の方向に動いているように思えます。

それでも諦めず、粘り強く地域からも働きかけを強めなければ、本

当に戦争する国づくりを阻止できないのではないかとこの危機感を持っています。

話は変わりますが、昨年5月の社員総会で2020年代後半

半に向けた十勝勤医協の中期計画案を提案させていただきました。大きな目玉の方針は、老健白樺の隣りに帯広病院を新築

移転させる事です。残念ながら新たな医師配置が未だに決ま

らず、具体的に計画は進んでいません。今後の帯広市の医療介護

需要予測では2030年から2040年にかけて介護需要が

医療需要を大きく上回る事が予測されています。病院と老健が

一体となって医療介護の連携を強化し、在宅分野にも力を入れ

ながら、地域の医療、介護機関とも連携をとり地域のニーズに

応えていく、そうありたいと職員は望んでいます。「安心して

十勝で生きて、十勝で老いて、十勝で死んでいくことに寄り添うこと」(十勝という地域で「生きる」ことに協力する) 瀬川高志(現帯広病院院長)の熱い思いであります。同時に全職員の目指すところでもあります。

最後になりますが、「政治資金パーティをめぐる裏金作りの疑惑」問題で裏金づくりの手法として「キックバック」という用語が出てきます。この言葉を聞くたびにサッカーを愛する者としては不快な思いをしています。サッカーではキックバックすなわちバックパスは時に(今回は必ず)「命取り」になることを自民党の方々には肝に銘じておいてほしかった。今年



本年もよろしく

お願いいたします

医療法人十勝勤労者医療協会

理事長

深町 知博

専務理事

今野 光昭

常任理事

瀬川 高志

小田原 剛

理事

浅沼 建樹

杉野 智美

林下 亜希

監事

浅沼 双枝

他職員一同

山本 鉄雄

野口 寿恵

山本 圭介

真田 若子

片桐 正晃

渡辺 景子



語り継ぐ 帯広空襲 戦争の記録

つなげたい 平和への願い ～愚かな戦争をなくすために～

ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ紛争など、心痛める悲惨な状況が世界各地で続く中、戦争の悲惨さ、愚かさを後世に語り継ぎ、平和な世の中になってほしいと願う「帯広空襲を語る会」の吉澤澄子さん（91歳／中央友の会）にお話を聞きました。（三浦紀秋）



吉澤澄子さん

1945年7月14、15日、北海道全土でアメリカ軍による空爆が行われ、道内の死者1,925人、負傷者970人、被害戸数6,680戸など甚大

な被害を受けました。十勝管内の本別、池田、浦幌、豊頃、幕別、大樹、広尾、更別、音更、土幌のほか、帯広では、川西地域以外に帯広駅構内、大通南1丁目付近、西1条南1丁目付近、西2条北2丁目付近の人々と家が襲撃されました。機銃掃射による市民への攻撃と、225キロ爆弾と5インチロケット弾が5発落とされ、1歳、9歳、16歳、17歳（2人）の5

人の若い命が犠牲に。帯広市全体での被害戸数は最低でも120戸以上と言われ、各地で炎が燃え、西1条南1丁目付近は焼け野原となりました。夏の暑い日が続く7月15日の日曜日午後3時頃、緊迫した空襲警報がけたましく鳴る中、西方から来たアメリカ戦闘機が、爆弾を落としました。当時9歳だった帯広国民学校3年の高橋和枝さんは、空襲中に「おしっこがしたい」と言いつて潜んでいた防空壕から飛び出し、爆死。家の便所のくずれた土かべの下に、首から上のない和枝さんの無残な姿が横たわっていました。和枝さんの兄16歳の昭典さんも、飛び出した和枝さんを連れ戻そうと防空壕から夢中で這い出た瞬間に、爆弾に吹き飛ばされました。防空壕の入口に、下半身だけ残った昭典さんのあわれない姿が、そこにありました。大谷高等女学校を卒業したばかりで、学徒動員で隣の軍事工場で働いていた17歳の石川キヨミさんは、帯広駅の空襲で

吉澤さんはその時13歳。帯広高等女学校の1年生。昼下がりの午後、ものすごい炸裂音と重音が鳴り響き、我をも忘れて防空壕に飛び込んだと言います。戦後、あるきっかけから平和への願いを後世に伝えようと1982年7月に「帯広空襲を語る会」を発足させ、毎年7月15日に近い日曜日に開催している語る会のほか、証言集『帯広空襲第5集』も2020年に発刊されました。

後年、空襲で亡くなったキヨミさんの母親は、一日として忘れることのできない悲しみを抱き、今は亡き愛する娘を思いながら、帯広の空に哀歌をうたいました。

夏雲の とぎれとぎれの空間に 亡き娘の幻 無意識に追ふ



よつ葉アリーナと帯広空襲の碑

活き活き介護活動と 介護の魅力発信

～シリーズ⑩～

ケアセンター白樺通所介護 村上 あゆみ 介護主任

デイケア介護活動のご紹介

11月16日(木)、11月18日(土)、11月24日(金)の3日間、秋の運動会を開催しました。 今回の種目は風船取り合戦、ボール転がし、ピンポン玉リレー3種目です。まずは、準備運動のラジオ体操を行い、赤、青チームの2つに分かれて、それぞれのチーム代表から選手宣誓を頂きま

た。今回は、この場をお借りして、秋の大運動会の様子を紹介したいと思います。 【選手宣誓】 各チームの代表の方



名ずつに選手宣誓を行って頂きました。 「宣誓/我々選手一同は、今日の運動会を最高の思い出にできるよう仲間と協力し、全力で運動会を楽しむことを誓います！」赤組代表〇〇〇〇 青組代表△△△△と名前を述べ、各チームの意気込みが感じられる宣誓でした。

【風船取り合戦】 この競技は、組ごとに横一列に座って頂き、利用者さんお一人お一人に



うちわを持って頂きます。二組が向かい合わせの列になり、真ん中には境界線が引いてあります。境界線の上には、20個の風

2024 年男年女 今年はこんな年に

去年はいい年じゃなかった(泣)。足を怪我して3ヶ月入院、2か月施設に入所、合計5カ月も家に帰れなかった。でも施設に入って友達ができ、施設の人に親切にしてもらったし、それだけが楽しかった。



今年はずいぶんいい年になりましたね。デイケアに通ってたくさん友達をつくり、たくさんしゃべりたい。たくさん笑いたい。笑うのが一番！足はガッタンコだけど口だけは達者なのよ(笑)。

13年前からデイケアに通っています。当時はまだ足の具合もよくて今より少し歩きました。コロナ前の数年前は、十勝健康まつりに頑張ってバスで行きました。楽しかった。今年は、健康まつりも再開しますね。今年の目標は健康まつりに参加することです。楽しみです！
ケアセンター白樺 デイケア利用者 猪原 弘子

入職して3年の月日が経ち、クラスター2回を経験し、委員会などの役職もつくようになり、とても成長できた1年でした。4年目は教わるのではなく教える立場になります。自分の介護に根拠をもって取り組めるようになりたいです。それを後輩・実習生へ伝達できる能力を身につけたいです。まだ皆勤賞なのでそれを保ちつつ自分の仕事を全うできるよう頑張ります！



また、私生活では推しのライブにもう一度行きたいです。そのためには自分自身の健康管理・感染対策に努めていきます。コロナ禍に就職し大勢での飲み会へ参加をしたことがないので、もっともっと皆さんとの親睦を深めたいと思っています。年女・晴女として飛躍の年にします！
ケアセンター白樺 介護福祉士 井口 陽菜

あけましておめでとうございます。入職してから2年目となる2023年は、当院ではコロナウイルスのクラスターが発生してしまい、大変な日々が続きました。現在もコロナウイルスやインフルエンザの感染拡大は続いています。何かと旅行や外出が悪者になってしまうような世の中ですが、2024年は機会を見つけて大好きなライブや野球観戦にも行けたらと思っています。さて、2024年は辰年です。時がたつのは早いものですね。「年男」と言われれば聞こえは良いですが、自分にとっては「厄年」の1年にもなります。どんな事が待ち受けているのか、考えただけでも恐ろしいです。最近始めた筋トレを続け、仕事終わりの友人との外食をちょっとだけ減らして(減らせる自信はないけれど)、健康に気を付けて過ごしていこうと思います。天に龍が昇るように、飛躍の年となりますように。若い力全開で今年も頑張ります。2024年もよろしくお祈りいたします。



帯広病院 看護師 水上 颯斗

明けましておめでとうございます。今年は何回目の年女。私のライフプラン通りにいけば、今頃は友の会の仲間たちと温泉で湯治だったはず？湯治の夢はさておいて、元気に介護現場で頑張っています。友の会の仲間でもある利用者さんたちは、厳しい年金生活や医療のこと、それからウクライナやガザで傷つき苦しんでいる人たちにも思いを寄せて「ひどいことだ。戦争はだめ！」「平和でなければ幸せにはなれない」と訴えています。介護現場の話題は次から次へと尽きることはありません。年女の私に、そろそろ後継者を、とまわりのみんなは心配しているけれど、ここも多分に漏れず人手不足。(高齢者もお国の要望に応えます)地域で暮らしたいと願っている人たちの気持ちにより添えるように「笑って！怒って！動いて！」楽しい一年になりますように。



大樹友の会 有岡 千恵子

昨年、最もつらかったのは帯広病院でのコロナクラスター。4人の入院患者さんが残念ながら、結果としてご逝去されました。外来では連日、コロナ、インフルエンザの患者さんたちを診察している中で、医療者としてはやむを得ない面もあるのですが…。患者さん御家族にとっては…、「なぜ入院しているのにコロナをうつされるのか?!しかもみんなに会わせてもくれないのか!!」本当にその通りです。今年はそんな不本意な展開にならないように、みんなで頑張っていけたらと思います。個人的には一昨年の北アルプスに続き、南アルプスへ、そして幌尻岳はじめ日高の難山に挑みたいと思います。20数年ぶりの山スキーも楽しみです。遭難や熊、事故に遭わないよう慎重を期しながらチャレンジです。下の娘の中学卒業に合わせて久しぶりに一家で海外に行く予定。いくつになっても新しい挑戦は続けたいですね。世の中、本当に「面白い」があふれていますから。



帯広病院 医師 舘野 知己

2024年は、介護保険制度の改定の年です。利用できるサービスを控えてしまったり、負担増で苦しむ利用者さんが増えることが今から心配です。2024年も引き続きケアマネジャーとして、利用者さんの声に耳をかたむけ、よりよい、ご自宅の生活を支えられるように奮闘する1年にしたいと思っています。昨年は、コロナウイルスにも感染せず、風邪もひかない元気で過ごせる1年でした。ただ、運動不足によると思われる腰痛になやまされる1年でもありました。今年は、利用者さんだけではなく、私自身も、健康づくり、体づくり、運動をこころがける1年にしたいと思っています。



居宅白樺 ケアマネジャー 高橋 香織

あけましておめでとうございます。去年はコロナが5類移行に伴い対策が大幅に変わりましたが、部署でもレク活動などコロナで出来なかったことが出来るようになりました。私の仕事での楽しみは行事レク(特におやつ作り)でして昨年は利用者様にも手伝ってもらおう！と「どらやき作り」を計画していましたが2度目のクラスターとなってしまい行うことが出来ませんでした。残念でしたがめげずに今年こそは実現出来ることを願っています。利用者さまが笑顔で楽しんでもらえるように！また自分ごとでは、食べることが大好きな反面、運動をおろそかにし見事に肥えてしまったので今年は運動して体を引き締めたいと思っています。そして美味しいものを食べる！ソフトクリームラリーは40個以上目指したいです！
ケアセンター白樺 介護福祉士 江野 愛



船が置いてあります。30秒3回戦！うちわで扇ぎ、相手の陣地に風船を多く送り込んだ数で勝敗を決めます。中には競技に熱くなってしまう、座っていることを忘れ、つい少しお尻が浮いてしまう方もいらっしやいました。職員は安全第一で利用者さんに楽しんで頂きました。



【ピンポン玉リレー】各自に紙コップをお渡しし、先頭の方が最後尾

の方まで隣の席に座る方が持っている紙コップにピンポン玉を落とさないように送ります。最後尾

の方は先頭の方の方へピンポン玉を戻し、5玉すべてを送り終わった速さで勝敗を決めます。どの曜日にも両チームとも接戦でした。

【ボール転がし】

ピンポン玉と同じ方法で、バランスボールを転がして、競います。利用者さんの転落や転倒を防ぐために、職員も転がるボールと一緒に走りながら脱線しないように、利



用者さんお一人、お一人にボールを触って頂くために必死です。2往復3回戦勝負。最後の方が触

ったらゴールです。一番白熱した競技でもありました。

【表彰式】

勝敗は種目ごと1勝10点の合計点で競います。優勝、準優勝の賞状を参加



された皆さんに職員からお渡しさせて頂きました。



【おわり】みなさんご存じの通り、デイケアはリハビリする施設です。リハビリと言っても、リハビリの先生

が行うリハビリだけではなく、このように楽しみながら、身体を動かすことも大切なリハビリとなります。また、なによりも、利用者さんの「楽しかった！ありがたう！久しぶりに涙が出るくらい笑ったよ！」と利用者さんからお声が一番の励みとなります。デイケアでは、今後もこのような企画を職員と一緒に考え、実践していきたいと思っております。

新年挨拶 住み慣れた地域で 安心して暮らすために



十勝勤医協
友の会連絡協議会
会長 山本 鉄雄

新年明けましておめでとございます。日頃の友の会活動へのご協力に感謝いたします。昨年5月から新型コロナウイルス感染症が「2類相当」から、季節性インフルエンザと同等の5類に分類されました。行動制限が緩和され人の動

きの増加は新たな感染拡大の不安を増しました。友の会では法人感染対策委員会の指導のもと、友の会活動を再開しました。友の会活動の強化をめざした「秋の大運動」では、新たに83名の友の会員を迎えました。各友の会では旅行会やパークゴルフ、ノルディックウォーキング、笑いヨガ、ふまねつとなど活動が再開されました。友の会は、人と人の繋がり、抛り所の活動として輝きを取り戻しました。地域では高齢化が一層進みました。友の会の活動は、一人ぼっちの会員を無くす取り組みとして重要です。引き続き「感染を防ぐ事は、命を守ること」とし

て感染対策をとり、友の会活動を行いましょ。気になる会員さんへの声かけ、友の会ニュース配布時の「ひと声かけ活動」を行いましょ。社会保障の充実で暮らしを守ろう

社会保障への更なる攻撃が深刻です。75歳以上の窓口2割負担が実施されました。全日本民医連が行った利用者アンケートでは、2割になつてからの負担が「とても重い」は81%となりました。医療費の負担増により、生活が圧迫され、受診控えや医療費を削ることを余儀なくされている実態が明らかになりました。

政府は巨額の軍事費を聖域化したまま、3.5兆円の「異次元の少子化対策」の財源の多くを、医療・介護給付費などの社会保障費を削減しようとしています。軍事費の削減と社会保障の改善を求める声と共同を大きくひろげましょ。

憲法を守り、平和の実現を

ロシアのウクライナ侵攻から2年が経とうとしています。戦争が始まったら多くの命が奪われ領土は一瞬で焼け野原となり、「軍事の抑止力」で戦争は防げないことを明らかにしました。また、イスラエルによる大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区の人道状況はきわめて深刻な危機に直面しています。

イスラエルは、国際人道法に違反する戦争犯罪をおかし、子ども達をふくむ多くの罪のない人命を奪っています。平和憲法を持つ国として、国連憲章と国際法を守れの活動と共に、平和憲法を守る運動を進めましょ。

コロナ禍から命と暮らしを守れ！憲法を守れ！社会保障を守れ！地域医療を守れ！一人ひとりの願いの実現のため奮闘ましょ。

頭の体操

次の口に漢字を入れて熟語をつくり、口の漢字を並べ替え○の中に入れて、答えを完成させてください。出題者はペンネーム・ノリリンさん（帯広市）です。【ヒント】人名。日本人。『窓ぎわのトットちゃん』の著者。ユニセフ親善大使。

【答え】○○○○

（漢字でご記入ください）

【賞品】

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りましょ。

【締め切り】

2024年1月20日（当日消印有効）。発表は第478号（3月号）紙上です。

【第474号の当選者】

答えは「介護崩壊」でした。応募総数61通、正解者55通の中から抽選により、次の10人の方が当選ましょ。（敬称略）

桜田みゆき 伊藤 博喜
金田 英男 石山 良明
井口とみ子（帯広市）
島貫 正道（音更町）
石黒 昭（音更町）
山口美代子（芽室町）
玉置千鶴子（池田町）
高間ヨシエ（幕別町）

読者の声

11月に入り、道路横の街路樹も一段と赤あざやかに色づいてきて、晩秋を感じています。一方で、毎日戦争で亡くなつていく人のニュースを見るたびに心が痛みましょ。

「介護改悪をはね返そう！」拝読致ましょ。介護保険制度の現状も理解できましたが、政府の打ち出す「改正」案には納得できるものではありません。特に利用者負担増は阻止しなければと思ましょ。改めて事の重大性を感じましょ。介護保険制度の「改正」案を「改

悪」にさせないよう皆で協力し頑張りましょ。帯広市 長谷川八重さん
値上げ、値上げ、値上げのオンパレード！上がらないのは賃金だけです。本当に何とかしてほしい！音更町 佐藤 一郎さん

白 □ 子 夜
腹 □ 点 貫 □ 底
青 □ 生 細
川 □ 腰 迷 □ 猫
相 □ 猫

〒080-0019
帯広市西9条南11丁目
十勝勤医協会館内
友の会ニュース編集部
○メール
soshiki@tokachi-kin-
ikyo.or.jp

帯広市 加藤 明江さん